

13. 大学院共通科目群、大学院横断教育科目群科目の履修について

大学院共通科目群および大学院横断教育科目群は、いずれも大学院生を対象に、専門以外に素養として備えておくべき知識・技能の教授を目的として開講されます。修得した単位の取り扱いが研究科等により異なりますので、詳細は所属研究科等の教務担当掛に確認してください。

また、大学院教育支援機構では、専門領域の壁を越え、幅広いキャリア形成を支援する「大学院教育支援機構教育コース」も設置しています。各コースは、大学院共通科目群および大学院横断教育科目群のうちから指定する科目の履修を含むカリキュラムにより構成されています。在学期間中に所定の修了要件を満たしたコース履修者には総長名の修了認定書が発行されます。各コースの概要は下記(2)のとおりです。

なお、学部生は履修することができません。

(1) 大学院共通科目群および大学院横断教育科目群の科目について

◆ 大学院共通科目群の科目 ◆

【授業内容】

「社会適合分野」、「情報テクノサイエンス分野」、「コミュニケーション分野」の3分野が設けられています。

「社会適合分野」では、大学院における研究活動の端緒として身につけるべき「研究倫理・研究公正」の他、大学院修了後に産業界へ進む学生へ向けた科目が開講されます。

「情報テクノサイエンス分野」では、大学院での学修、研究活動の基礎としての情報リテラシーや情報処理に関する科目が開講されます。

「コミュニケーション分野」では、研究会や学会等における英語を用いた発表や討議参加を目標とした科目が開講されます。また、留学生向けに日本語科目が開講されます。

開講科目は、「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.121～)で確認してください。また、各科目の詳細はKULASISのシラバスを参照してください。

【注意事項】

◇ 半期開講、集中開講にかかわらず、開講期の履修登録期間にKULASISから履修登録(p.48～)を行ってください(大学院生のための英語プレゼンテーションおよび大学院教育支援機構ジョブ型研究インターンシップI・IIは除く)。ただし、科目によっては人数制限を行う場合があります。この場合は、詳細をKULASISの履修(人数)制限ページおよび掲示で案内しますので、指示に従って事前申込をしてください(p.73～)。人数制限の指示がない場合は、事前申込の必要はありませんが、履修を希望する科目を時間割に追加し、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず[確定]ボタンを押してください。また、開講時期や開講形態等の都合で、別途申込期間を設けて受講申込を受け付ける場合があります。この場合は、KULASISや掲示を通じて指示します。

◇ 前期8月中旬以降・後期2月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。

◆ 大学院横断教育科目群の科目 ◆

【授業内容】

各研究科等が開講する大学院科目のうち、研究科等を横断する学際領域において、他研究科等の大学院生にも公開し、履修を推奨する科目が大学院横断教育科目群の科目として開講されます。

科目選択の参考になるよう、開講科目を「人文社会科学系」、「自然科学系」、「統計・情報・データ科学系」、「健康・医療系」、「キャリア形成系」および「複合領域系」の6つに分類しています。

開講科目は、KULASISや掲示でお知らせします。また、各科目の詳細はKULASISのシラバスを参照してください。

【注意事項】

◇ 大学院横断教育科目群の各科目について、科目を開講している研究科等に所属する学生は同科目群の科目として履修することができません。所属研究科等の指示に従い、大学院科目として履修してください。

◇ 半期開講、集中開講にかかわらず、開講期(通年、通年集中開講科目は前期)の履修登録期間にKULASISから履修登録(p.48～)を行ってください。ただし、科目によっては人数制限を行う場合があります。この場合は、詳細をKULASISの履修(人数)制限ページおよび掲示で案内しますので、指示に従って事前申込をしてください(p.73～)。人数制限の指示がない場合は、事前申込の必要はありませんが、履修を希望する科目を時間割に追加し、履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず[確定]ボタンを押してください。また、開講時期や開講形態等の都合で、別途申込期間を設けて受講申込を受け付ける場合があります。この場合は、KULASISや掲示を通じて指示します。

◇ 前期 8 月中旬以降・後期 2 月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に掲載されます。

(2) 大学院教育支援機構教育コースについて

各コースの登録方法等詳細は、以下の大学院教育支援機構のホームページをご確認ください。

<https://www.kugd.k.kyoto-u.ac.jp/>

◆ 産学協同教育コース ◆ (令和 5 年度設置)

【教育目的】

自らが専門領域で創造した研究成果を大学や研究機関だけでなく広く社会に展開するために必要な、起業マインド、知財、資金調達、法務を学ぶとともに、ベンチャー企業創業者・大手企業役員との討議により企業戦略や外部連携の実例にも触れることを目的とします。

また、実際に起業を体験する実践ワークショップや、研究インターンシップへの挑戦も歓迎します。

【カリキュラム・修了要件】

I. 産学協同教育コース(ベーシック)

以下の必修科目および自由選択科目よりあわせて 7 単位を修得すること。

科目名	科目群	単位数	開講期	備考
知的財産	院共通	1	前期集中	必修科目
アントレプレナーシップ入門	院共通	0.5	前期集中	必修科目
ベンチャーファイナンス入門	院共通	0.5	後期集中	必修科目
企業法務概論	院共通	2	前期	自由選択科目
企業の社会的責任-ESGの取組について-	院共通	1	前期集中	自由選択科目
キャリア・アントレプレナーシップ論	院共通	1	前期集中	自由選択科目
アントレプレナーシップ演習	院共通	2	後期集中	自由選択科目
研究開発型企業経営論	院共通	1	後期集中	自由選択科目

II. ① 京都大学技術イノベーション事業化～実践ワークショップ～プログラム

II. ② C-ENGINE 中長期研究インターンシッププログラム

原則として I. ベーシックを修了した者を対象とします。

在学期間中に、I. ベーシックにおいて必要な 7 単位を修得し、かつ II. ①実践ワークショップ又 II. ②インターンシップに参加した者には、総長名の修了認定書を授与します。

ただし、I. ベーシック、II. ①実践ワークショップ又は II. ②インターンシップ のそれぞれの区分でも個別に総長名の修了認定書を授与することができます。

◆ 教育能力向上コース ◆ (令和 5 年度設置)

【教育目的】

大学教員を目指す大学院生の教育力向上に対して社会からの要請が高まるなか、自らが専門とする研究内容を初学者や異分野を専門とする学生にも分かりやすく伝える能力を身に付けるための講義・演習、実践授業や模擬授業に取り組みます。

また、学生の健康や安全、人権、障害等への意識を高める講義を受講して、理解を深めます。

【カリキュラム・修了要件】

以下の必修科目を修得すること。

科目名	科目群	単位数	開講期	備考
大学教員になる人のための学生支援論	院共通	1	前期集中	必修科目
教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業	院共通	1	通年集中	必修科目

※本コースを履修する場合は、e-learning「全学 TA 研修」及び e-learning「TAS 研修」を必ず受講する必要があります。e-learning「TAS 研修」は令和 6 年度中に新規開設予定であり、詳細が決定次第周知予定です。

※TAS=Teaching Associate は、京都大学大学院の博士後期課程、一貫制博士課程の後期 3 年に相当する課程又は標準修業年限が 4 年の博士課程の特に優秀な学生のうち、必要な研修を受講し、教育担当の理事が定める試験に合格した者に対し、教育的配慮の下に、学部学生に対する講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う授業の高度な教育補助業務及びこれに付随する教育補助業務を行わせ、大学教育の充実及び将来の大学教育における優れた指導者の養成を図る制度です。

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ グローバル生存学コース ◆ (令和 5 年度設置)

【教育目的】

現代の地球社会では、巨大自然災害、突発的人為災害・事故、環境劣化・感染症などの地域環境変動、食料安全保障、といった危険事象や社会不安がますます拡大している。

本コースでは、「グローバル生存学」(Global Survivability Studies, GSS) という新たな学際領域を継承し、地球社会・地域社会における安全安心の担保に寄与できるグローバル人材が身に着けるべき、コミュニケーション力、研究・開発の計画力と推進力、自ら課題を発見する能力などを涵養する。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ デザイン学コース ◆ (令和 6 年度設置)

【教育目的】

現代社会は複合的で複雑な様々な問題に晒されている。特に、複合的かつ複雑な問題解決には、異なる分野の専門家が協働して当たる必要がある。このような協働活動には、特定の分野に特化した専門知識に加え、専門領域を超えて問題を把握するためのデザイン実践と複雑化する問題に本質的にアプローチするための方法論が必要とされる。

本コースは、「デザイン学大学院連携プログラム」で培われた成果を活用し、部局を問わず京都大学大学院生を対象に、これからの時代に必要とされるデザイン学の思考方法論の基本を修得してもらうことで、複合的かつ複雑な社会問題に取り組むことが可能な人材育成を目指すものである。特に、教員のレクチャーだけではなく、京都大学デザインスクールをサポートするデザインイノベーションコンソーシアムや海外の大学と連携した演習等を組み合わせることにより、知識だけではなく、実践的な能力の修得を目指す。さらに本コースは、将来より専門的にデザイン学を学ぶための基礎としても位置付けられる。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。

◆ 数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース ◆ (令和 6 年度設置)

【教育目的】

数学はその普遍的な性質により、自然科学は勿論のこと、情報科学や社会科学など多くの分野に共通する理論的基盤となっている。

本コースは、数学・数理科学の様々なテーマに触れることで諸分野における数学の可能性を知る機会を提供し、数学・数理科学を基盤とする分野における幅広い視野を備えた人材の育成や高度な技量を備えた国際人材の育成に重層的に寄

与することを目的とする。

【カリキュラム・修了要件】

カリキュラムや修了要件の詳細については、以下の国際高等教育院のホームページをご確認ください。

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin>

在学期間中に上記の修了要件を満たしたコース履修者には本学総長名の修了認定書が発行されます。